

【我孫子市小中一貫教育が目指す子ども像】

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども（郷土愛）
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども（未来を拓く力）
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども（輝く心）

Abi-ICT

学習指導要領では、『情報活用能力』が言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」に位置付けられ、学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実が明記されました。

- ・児童生徒1人1台のタブレット型端末のICT環境を整備することで、教科の枠にとられない新たな視点での情報教育を推進していきます。
- ・「情報モラル教育」及び「プログラミング教育」について系統的な学習を行うとともに、ICTを活用することで各学年各教科を通して『情報活用能力』を身に付けます。
- ・確かな学力を身に付け、様々な問題に主体的に向き合うことで、変化し続ける未来に夢を持ち、チャレンジする子どもを育成します。

【目指す子ども像を育成するための重点と構成要素】

子ども像	「ふるさと我孫子」を愛し、 誇りに思う子ども	確かな学力を身につけ、 夢を持ちチャレンジする 子ども	自分に自信を持ち、 自他を大切にする子ども
重点			
コミュニケーション力	共感・理解力 人間関係力	言語力 発信力	共感・理解力 人間関係力
チャレンジ力	課題発見力	見通す力 気力 活 忍耐力	
豊かな心	思いやり 自然・崇高なものに 感動する心		思いやり 命を大切にする 人の痛みがわかる 自己有用感を持つ

Abi-ICT
市共通教材

- 我孫子市オリジナル教材Abi-ICTカリキュラム
- 我孫子市プログラミングモデルカリキュラム

Abi-ICT 市共通学習

つけたい力 コミュニケーション力・チャレンジ力・豊かな心 を支える情報活用能力

	情報モラル	情報手段の基本的な操作技能	プログラミング学習
小学1年生	・タブレットをつかうときのやくそく ・みんなで使う学校のコンピューター	・コンピュータにさわってみよう ・PCでお絵かきしよう	○プログラミングに親 しもう ・きゅうしよくのじゅんびをまとめよう ・およげ！うみのいきもの ・ロボットをうごかそう ・ものがたりをつくろう ・リズムであそぼう ・身近にあるコンピューター
小学2年生	・ゲームをするときのルールをきめよう ・外でゲーム機やスマホを使うときは	・チャレンジ漢検 ・マウスで文字を書く	○プログラ ミング的思 考の基礎 ・作っておどろうリズムダンス ・リサイクルを考える ・水のじゅんかん ・熟語でクイズ大会
小学3年生	・個人情報を守ろう ・パスワードはカギと同じ ・災害時の情報の信ぴょう性	・探検マップ作り ・キーボード練習	○順次・反 復・条件分 岐の理解 ・小数のかけ算、割り算 ・多角形と円をくわしく調べよう ・倍数はどのようにならぶ ・けがの手当て ・水よう液の名前をあてよう ・私たちの生活と電気 ・中央値、平均値、最頻値を求めよう
小学4年生	・肖像権 ・著作権 ・デジタル作品の発信	・新聞作り ・星座観察	
小学5年生	・情報発信は慎重に ・ネットいじめを防ぐには	・調べ学習発表会	
小学6年生	・SNSでの危険 ・情報の破壊や流出	・パンフレット作り	
中学1年生	・個人情報の保護 ・携帯のルールやマナーを守る	教育課程全体をとおして	○双方向性 のあるコン テンツによ る問題解決 ○計測・制 御による問 題解決 ・デジタル作品の設計・制作 ・AIやネットワークを利用した 課題解決プログラムの作成
中学2年生	・安全な利用とルール作り ・掲示板の使い方		
中学3年生	など		

Abi-ICT 学びの系統表

		情報モラル	情報手段の基本的な操作技能	プログラミング学習
小学校	1年	◎自分や他の人の情報を大切にし、ルールを守って安全に情報手段を使うことを理解する。コンピュータやインターネットの基本的なルールやマナーを理解する。 【特活・道徳等】	◎コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作 ◎画像編集・ペイント系アプリケーションの操作 【生活・図工等】	◎体験や活動から疑問を持ち、解決の手順を見通したり分析して、どのような手順の組み合わせが必要かを考えて実行する。 【生活・国語等】
	2年			
	3年	◎情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考慮して適切に使用する。生活の中での必要となる情報セキュリティを理解する。 【特活・道徳等】	◎キーボードなどによる文字の正しい入力方法 ◎インターネット上の情報の閲覧・検索 【総合・国語・社会等】	◎収集した情報から課題を見つけ、解決に向けた活動を実現するために情報の活用の見通しを立て、実行する。 【国語等】
	4年			
	5年	◎情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考慮して適切に使用する。情報社会での情報技術の働きや産業や国民生活の関わりを理解する。 【特活・道徳等】	◎キーボードなどによる文字の正確な入力 ◎調査や実験・観察等による情報の収集と検証の方法 【国語・社会・総合等】	◎問題を焦点化し、ゴールを明確にする。また、シミュレーションや試作等を行いながら問題解決のための情報活用の計画を立て、調整しながら実行する。 【算数・理科・保健等】
	6年			
中学校	1年	◎情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考慮して適切に使用する。情報社会での情報技術の働きや産業、国民生活の関わりを理解する。 ◎情報や情報技術を多様な観点から考えることによって、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする。 【特活・道徳・国語等】	◎キーボードなどによる十分な速さでの正確な文字の入力 ◎電子ファイルの運用（圧縮・パスワードによる暗号化、バックアップ等） ◎目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作 ◎クラウドを用いた協働作業 【各教科等】	◎計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 ◎問題を見いだして課題を設定し、入出力されるデータの流れをもとに計測・制御システムを構築して情報処理の手順を具体化するとともに、政策の過程や結果の評価、改善及び修正について考える。 【技術等】
	2年			
	3年			
参考資料		熊本市情報活用能力育成の段階表	情報の教育化の手引き	情報の教育化の手引き 中学校学習指導要領解説（技術家庭編）

それぞれを独立して扱うのではなく、相互に関連付け、発達段階や教科等の学習と関連付けて、教育課程全体を通して効果的に育成することが重要である。